

各位

2017年1月12日

公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 富山
～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、公益社団法人富山県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 富山～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

「子育て支援フォーラム in 富山」開催概要

日時： 2017年2月4日（土）14：00～17：00

場所： 富山県医師会館 1階大ホール
富山県富山市蛸川 336

参加費： 無料（先着 250名）

プログラム概要：

基調講演： 「妊娠・出産・子育て期の女性のメンタルヘルス」

座長：温泉川 梅代（日本医師会常任理事）

講師：加茂 登志子（東京女子医科大学附属女性生涯健康センター所長）

シンポジウム： 1 「要保護委員会による気付き妊婦・母子・児童の支援」

五十嵐 登（富山県立中央病院 小児科部長）

2 「妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援と虐待防止」

桑間 直志（富山赤十字病院第1産婦人科部長／富山県産婦人科医会長）

3 「虐待傾向を呈する親・家族の心理社会的特徴：依存性と支配性を中心に」

西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科学科長教授）

4 「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」

加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 富山～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.med.or.jp/people/info/seminar/003323.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI子ども希望財団 03-6229-1003

子育ての応援と ゼロ歳児からの虐待防止を目指して

つないだ手から描く未来



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。

特に死亡児の低年齢化、中でもゼロ歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの

死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

イラスト 小幡菜摘
2016年度 オレンジリボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料

先着

250名

日時

平成29年
2月4日(土)
14:00-17:00

場所

富山県医師会館
1階大ホール

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)がご利用いただけます。

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
公益社団法人富山県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、富山県、富山県教育委員会、富山市、富山市教育委員会、富山県歯科医師会、富山県薬剤師会、富山県看護協会、富山県学校保健会、富山県小児科医会、富山県産婦人科医会、富山県栄養士会、富山県助産師会、富山県保育士会、富山県PTA連合会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 富山

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成29年2月4日(土)

14:00~17:00

場所：富山県医師会館1階大ホール

〒939-8222 富山市蛭川336

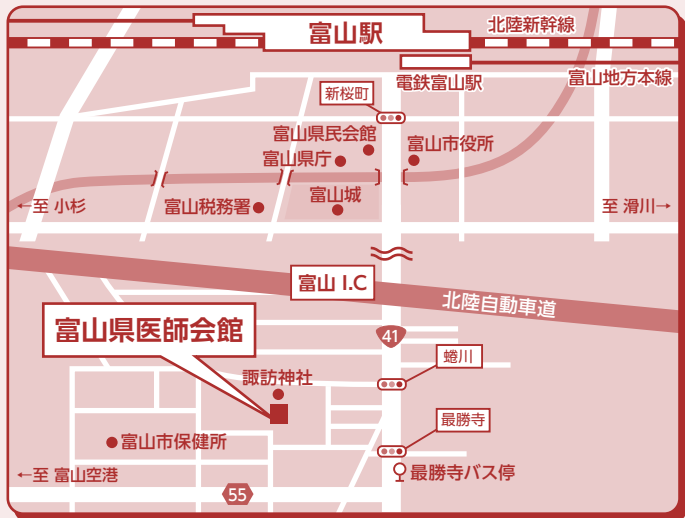
TEL:076-429-4466

HP:<http://www.toyama.med.or.jp/>

◆富山駅前バス乗場から「猪谷行」・「笹津行」・「笹津保養センター行」
⇒「最勝寺」で下車(バス停から徒歩7分)

◆富山I.Cから、国道41号線を700m程南下(大沢野方面)して約2分

◆タクシー：富山駅より約15分、富山空港より約5分



プログラム

司会：村上 美也子(富山県医師会副会長)

1. 開 会 14:00
2. 挨拶 14:00~14:10
横倉 義武(日本医師会会長)、馬瀬 大助(富山県医師会会長)
3. 講 演 14:10~15:00
座 長：温泉川 梅代(日本医師会常任理事)
講 師：加茂 登志子(東京女子医科大学附属女性生涯健康センター所長)
「妊娠・出産・子育て期の女性のメンタルヘルス」
4. シンポジウム 15:00~16:20
座 長：村上 美也子(富山県医師会副会長)、種部 恭子(富山県医師会常任理事)
(1)五十嵐 登(富山県立中央病院 小児科部長)
「要保護委員会による気がかり妊婦・母子・児童の支援」
(2)桑間 直志(富山赤十字病院第1産婦人科部長/富山県産婦人科医会長)
「妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援と虐待防止」
(3)西澤 哲(山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科学科長教授)
「虐待傾向を呈する親・家族の心理社会的特徴：依存性と支配性を中心に」
(4)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」
5. 討 議 16:30~16:55
6. 閉 会 16:55~17:00
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：平成29年1月27日(金) 必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
参加票の発送をもって代えさせていただきます。(1月中旬頃)

※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒939-8222 富山市蛭川 336
富山県医師会

FAX 076-429-6788

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

HP <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ/03-3942-8181(日本医師会地域医療第3課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 富山

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して (平成29年2月4日(土)開催)

住所	〒	—	電話番号	—	—	託児施設のご利用	有・無
氏名			FAX	—	—	託児人数	／ 託児年齢
						男児	人 / 才
						女児	人 / 才
住所	〒	—	電話番号	—	—	託児施設のご利用	有・無
氏名			FAX	—	—	託児人数	／ 託児年齢
						男児	人 / 才
						女児	人 / 才

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 076-429-6788 ↓